

ブラウン大学、多様性・包括性の促進と人種差別・不平等などの問題への取組みを  
目的とした行動計画草案を発表（11月21日）

ブラウン大学（Brown University、ロードアイランド州）のクリスティナ・パクソン学長（Christina H. Paxson）は11月19日、大学における多様性と包括性を促進し、人種差別・権力・特権・不平等・不正などの問題に取り組むことを目的とした行動計画草案を発表した。本草案によると、同大学は、人種差別及び多様性などの問題に対処するために、今後10年間に亘り1億ドル超を投入するという。本計画で提示された主要な対策は以下の通りで、大学当局は、同計画に対する学生・教員・職員からのコメントを12月4日まで受け付けている。

- 2024-25学年度までに、歴史的に過小評価されてきたグループ出身の教授数を2倍に増加。
- 新入教員・職員に対する、人種・人種差別、性別・性差別、性別認識、能力などに関するオリエンテーションプログラムとワークショップを考案。
- 大学構内に勤務する公安職員に対し、多様性及び気配りに関する研修を更に実施。
- 有色人種及び同性愛・性転換学生を対象としたメンタリングプログラムの拡大。
- 歴史的に過小評価されたグループから研究者を招聘し、同大学において授業・研究を実施する「多様性訪問研究者プログラム（Diversity Visiting Scholars Program）」の作成。
- 家族で最初の大学進学者である学生のためのセンター設立。

なお、本行動計画草案は、

<<https://www.brown.edu/about/administration/institutional-diversity/sites/brown.edu/about/administratio.n.institutional-diversity/files/uploads/Plan%20for%20Diversity%20and%20Inclusion%20with%20Letter%2011.19.15.pdf>>からダウンロード可能。

The Chronicle of Higher Education, *Brown U. Plans to Spend \$100 Million to Promote Diversity and Inclusion*

<http://chronicle.com/blogs/ticker/brown-u-plans-to-spend-100-million-to-promote-diversity/106867>